

町田市感染症予防計画に基づく訓練について

資料3

1. 計画で定める目標と実績

- (1)指標 医療従事者や保健所職員等に対する研修及び訓練の実施回数
- (2)数値目標 年3回以上
- (3)実績 3回

2. 実施した訓練

① 保健所主催

訓練名	実施日	訓練内容	目標	参加人数	対象者
N95マスク フィットテスト 個人防護具着脱訓練①	2024年6月6日 2024年6月7日	(1) N95マスクフィットテスト フィットテスターを用いて自身にあったマスクを確認する。 (2) 個人防護具着脱訓練 実際に使用する防護具を使って、手本となる職員を見ながら着脱を行う。	(1) N95マスクフィットテスト ・自分の顔にあったマスクを知ることができる。 ・N95マスクの正しい装着方法を知り、感染暴露を防ぐことができる。 ・N95マスクの期待される効果と限界について知ることができる。 ・職員にあったマスクを把握し、備蓄ができる。 (2) 個人防護具着脱訓練 ・防護服の正しい着用の仕方がわかる。 ・汚染された防護服の正しく脱ぎ、廃棄する方法がわかる。	(1) N95マスクフィットテスト 34人 (2) 個人防護具着脱訓練 30人	(1) N95マスクフィットテスト 全庁職員 (2) 個人防護具着脱訓練 全庁職員
個人防護具着脱訓練②	2024年11月18日 2024年11月19日	実際に使用する防護具を使って、手本となる職員を見ながら着脱を行う。	・防護服の正しい着用の仕方がわかる。 ・汚染された防護服の正しく脱ぎ、廃棄する方法がわかる。 ・終了時のクイズ・アンケートにて全問正解9割以上、参加満足度「そう思う」 「ややそう思う」9割以上を目指す。	12人	保健所職員
嘔吐物処理訓練	2024年12月9日	蛍光塗料を混ぜた模擬嘔吐物を用いて、嘔吐物の除去・環境消毒の訓練を行う。処理後にブラックライトを当ててどの程度ふき取れたか確認する。	・正しい嘔吐処理の方法を学び、嘔吐の場面に遭遇した場合、適切に処理し感染拡大防止を図ることができる。 ・保育園等に訪問・調査を実施した際、正しい嘔吐処理の方法について説明することができる。 ・終了時のクイズ・アンケートにて全問正解9割以上、参加満足度「そう思う」 「ややそう思う」9割以上を目指す。	30人	保健所職員 (感染症担当、母子保健担当)

② 医療機関主催

訓練名	実施日	訓練内容	目標	参加人数	対象者
感染症対策地域 連携会議合同訓練	2024年9月27日	(1) 新興感染症疑い患者が直接来院したという設定のシミュレーション動画を視聴する。 (2) 地域連携について情報提供・意見交換を行う。	・新興感染症の発生時に迅速かつ適切な対応ができるよう、市内医療機関・医師会との連携強化に向けた取組を進める。	41人（うち保健所4人）	主催：町田市民病院、多摩丘陵病院 参加：市内医療機関、町田市医師会、町田市保健所